

12 校内研修の充実部会(小・中)		部会テーマ	校内研修(授業研究)の充実に向けて
内 容	教職員一人一人が学び続け、子どもの学びを支援する伴走者としての役割を果たすとともに、質の高い教職員集団になることが求められる今、所属する組織における校内研修、特に授業研究の果たす役割は大きい。そこで、本部会では、学校における校内研修の実践事例や今年度の調査研究を紹介することにより、校内研修を充実させる秘訣とは何かについて考える機会とする。		
部 会 担 当	武井 玲子(総合教育センター)	指導助言者	久保田 善彦(玉川大学大学院)

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

説明

小・中学校における校内研修の充実に向けた調査研究の概要

12時50分～13時15分

総合教育センター研究調査部 十市 祐輔

発表①

教師のつながりを子供の学びに

～校内研修から町内研修へ～

13時15分～13時40分

茂木町立逆川小学校 小野口裕介

本校の校内研修会や授業研究の実践と、それらを充実させていく上で大切にしたいことについて紹介する。また、逆川小学校だけに留まらず、茂木町内の教職員のつながりを深めるような研修会の実践やその効果について発表する。

発表②

「同型性」を活用した校内研修の工夫

13時45分～14時10分

高根沢町立阿久津中学校 池田有紀子

校内研修の学びと教室での学びをつなげるために「同型性」の視点から校内研修を捉え直した。「同型性」の視点とは、「状況の中に入って考えること」と言える。研究授業であれば、模擬授業を行い、子どもの視点から授業を捉えた後、参観することで、より精緻に学びを見取り、子どもを軸に対話できると考えられる。

質疑等

14時10分～14時15分

指導助言

14時15分～14時30分

玉川大学大学院教育学研究科 久保田善彦